

「スーパー高校生」が登場、最上位にランクイン！ リスニング力の「語彙」は高いが、「流暢さ」に課題 チャレンジは10月31日まで！



2018年10月30日
株式会社 日本経済新聞社

日本経済新聞社は30日、全国一斉英語テスト「第1回 VERSANT英語スピーキング・チャレンジ」の10月28日までの中間報告（5回目・速報値）をまとめました。受験者の平均スコアは45点で日本人平均の38点を大幅に上回る高いスコアを維持しています。

高得点者のリストを見ると、最上位に高校生がランクインしています。総合スコアは71点、TOEIC申告スコアは980点と非常に高いレベルです。

受験者全体のTOEIC申告スコアの平均は800点。このうち4人に1人は900点台という「英語上級者」に数多く挑戦してもらっています。特筆すべきは900点台の「語彙」のスコアの高さで、平均は58.1点と非常に高い水準です。一方「流暢さ」は47.1点、「発音」は43.9点と苦戦している現状が見えてきました。

VERSANTは英語のコミュニケーションスキルを高度な音声認識技術を活用して客観的に測定し、数値化できます。このため、日本の有力企業での採用が増えています。それはTOEICの高得点者の方々を分析した、今回の中間速報第5弾で作成したリストからも明らかです。

「スピーキング・チャレンジ」もよいよ明日が締め切りとなりました。まだの方は今すぐお申し込みください！

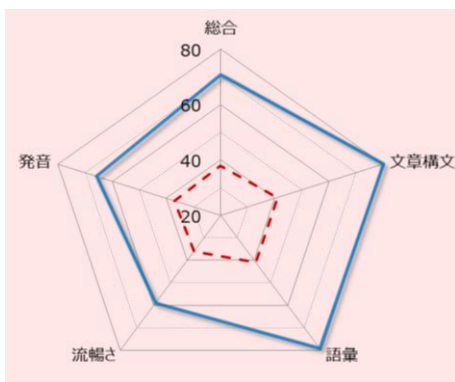
中間結果のポイント

- ・受験者の**VERSANTスコア平均は45.2点**
⇒日本人平均（38点）を7点も上回る高水準を維持
- ・受験者の**TOEIC申告スコアの平均は796点**
⇒4人に1人は900点台
- ・高得点者20名には、**高校生**がランクイン
- ・項目別でみると「**流暢さ**」や「**発音**」に課題が

高得点者20名のスコア

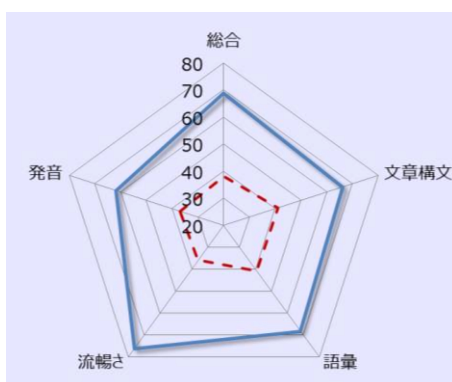
業種・職種	TOEIC	総合	文章構文	語彙	流暢さ	発音
学生		80	80	77	80	80
その他（英語教育関係者など）	900	80	80	76	75	79
その他	925	74	76	80	74	64
卸売・小売業・商業	865	74	72	70	74	78
サービス	905	71	68	73	75	66
学生(高校生)	980	71	80	79	59	66
金融	955	70	80	62	62	62
金融	860	69	66	68	76	62
IT（情報・通信・エレクトロニクス）	920	69	61	72	74	69
サービス		68	58	66	72	76
金融	955	67	80	59	57	57
IT（情報・通信・エレクトロニクス）	960	67	77	65	59	67
金融	860	66	70	62	68	60
その他	990	66	67	64	66	66
製造業	910	66	67	62	68	64
サービス	985	66	72	80	52	65
サービス	785	64	79	63	58	50
サービス	905	64	56	62	72	65
その他	925	63	68	74	54	57
学生	825	62	49	59	76	65

学生Aさん（高校生）



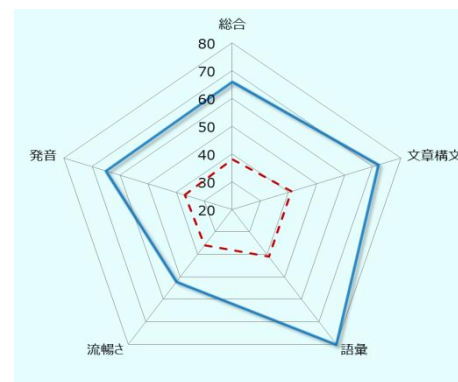
TOEICスコアは980点。VERSANTでも最上位にランクイン

金融Bさん



「流暢さ」が76点とネイティブ並み。TOEICは860点

サービスCさん

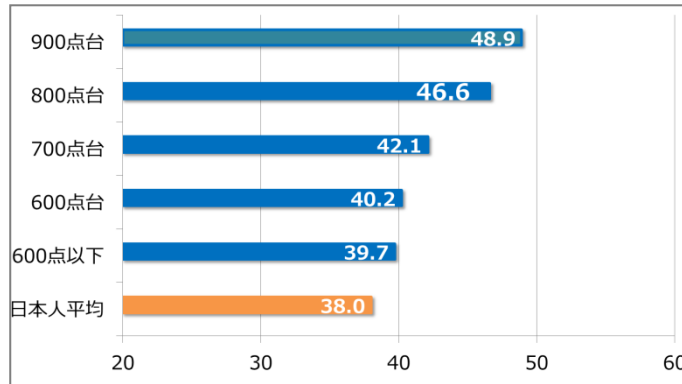


「語彙」が満点。「流暢さ」の強化でネイティブに対抗できるレベルに

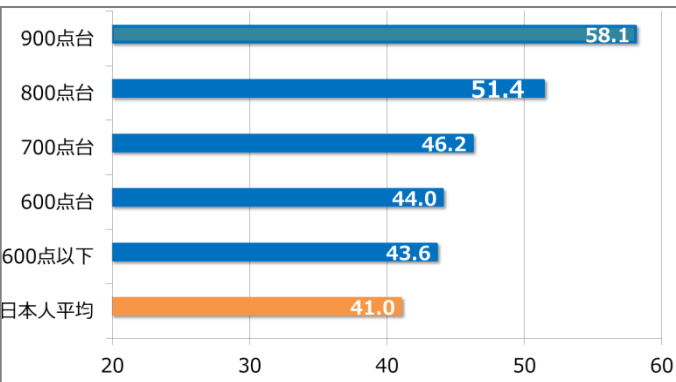
学生Aさん（高校生）はTOEICスコア980点、VERSANT総合スコアは71点。「文章構文」と「語彙」はそれぞれ満点の80点、79点と磐石です。スピーキング力を示す「流暢さ」は59点。これは日本人平均を20点以上も上回りますが、これだけの上級者であるAさんにとっても、さらに強化すべき「宿題」が明らかになったのではないのでしょうか。いずれにしても、日本の高校生でも屈指の実力者であることは間違いありません。

また高得点者のスコアチャートを見ても、日本人が苦手な「流暢さ」を得意とするのは金融のBさんです。一方サービスのCさんはリスニング力の「語彙」が満点の80点です。英語のプロ集団でも得意、あるいは比較的苦手とするスキルがVERSANTでは明確に浮かび上がります。それだけに新たな目標として意欲的にスキル向上に取り組めるようになります。

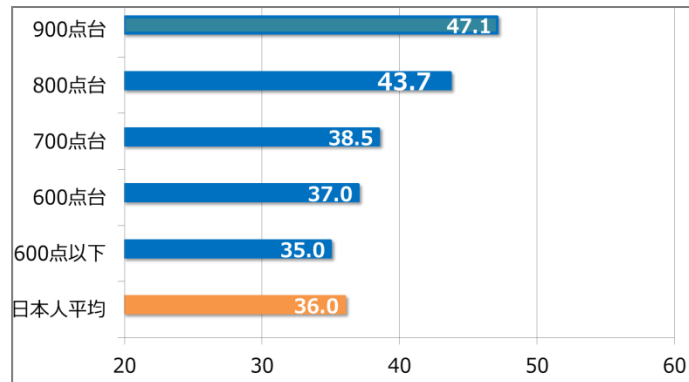
TOEICスコア別：総合スコア



TOEICスコア別：語彙



TOEICスコア別：流暢さ



TOEICスコア別に「総合スコア」「語彙」「流暢さ」の平均値をグラフ化しました。ここで目立つのはやはりTOEIC900点台の「語彙」の突出したスコアの高さです。その平均スコアは58.1点と非常に高い水準です。一方、「流暢さ」は47.1点、「発音」は43.9点と、相対的には苦戦されています。

TOEIC800点台でも傾向は同じです。「流暢さ」と「発音」はそれぞれ43.7点、41.9点と、900点台とあまり変わりません。つまり、英語をアウトプットするスキルでは今回のスピーキング・チャレンジではあまり大きな差がついていません。これは日本経済新聞社が今年春から、国内の有力企業を対象に実施したモニター試験と同じような傾向です。

TOEIC700点台、600点台ではリスニング力の「語彙」では800点台とそれほど引き離されてはいませんがやはり「流暢さ」のスコアが低くなっています。日本人平均に近いレベルになります。

今回のスピーキング・チャレンジではこれからも数多くの方が受験されています。今回のキャンペーンの申し込み期間は31日までですが、世界標準とされる英語スピーキングテストのVERSANTについてご理解を深めて頂くために、これからも様々な情報をレポートとして提供してまいります。

「第1回 VERSANT 英語スピーキング・チャレンジ」締め切り迫る！

受験期限を11月11日（日）まで延長！まだチャレンジしていない方はお急ぎください。

申込期限も10月31日（水）まで延長しました。

<https://www.versant.jp/campaign/201807/>